

3月24日(月) / (出席者118名)

第167回通常議員総会 令和7年度事業計画及び収支予算を承認

第167回通常議員総会を開催し、「令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）」について審議を行い、全会一致で承認しました。

また、令和6年度の新入会員数は225社で、年度末会員数4,796社となり、平成17年度から20年連続200社以上の新規加入及び年度末純増を達成しました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



開会の挨拶をする福田会頭

令和7年度事業計画のポイント

1. 中小企業・小規模事業者の稼ぐ力の強化と人手不足への対応

中小企業・小規模事業者の「稼ぐ力の強化」と「人手不足への対応」に向け、省力化・デジタル活用による生産性向上を図ります。また、労務費の価格転嫁や取引価格の適正化に向け、パートナーシップ構築宣言の一層の拡大と、価格交渉ツールの周知、活用を図り、価格交渉力向上を支援することに加え、さらに持続的な賃上げを促進するため、業務改善助成金等補助金の活用促進を図るなど賃上げのための環境を後押しします。

2. 地域経済の活力強化に向けた事業の推進

地域の魅力向上と活性化に向けて、様々な組織や関係者と連携を図りながら、新たな価値や賑わいを創出するための事業を展開します。また、交通インフラの充実と利活用に向けた事業を実施するとともに、中小企業・小規模事業者の災害対応力を高めるためにBCPの策定を支援します。

3. 提言・要望活動等の推進

地域雇用を支えている中小企業・小規模事業者の活力強化と経営環境改善の実現に向け、委員会活動等を通じて国や県、市に対する提言・要望活動を実施します。

4. 組織・財政基盤等の強化

43年ぶりに会費基準を引き上げます。併せて、既存の会員サービスのブラッシュアップを図るほか、会員限定サービスである共済、損害保険サービスの周知を強化して、割安なサービスの利用者が広がるよう広報を強化します。また、バックオフィス業務の効率化に向けたデジタル化を推進し、ペーパーレス化を図ります。

令和7年度 収支予算総括表 〔 自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日 〕

新潟商工会議所
(単位：千円)

会計別		本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増・減 (▲) (A)-(B)
1	一般会計	319,280	303,245	16,035
2	中小企業相談事業特別会計	155,614	153,502	2,112
3	経営発達支援事業特別会計	6,383	4,919	1,464
4	まちづくり事業特別会計	10,404	7,250	3,154
5	会館管理特別会計	37,136	75,707	▲ 38,571
6	生命共済事業特別会計	72,058	67,040	5,018
7	生命共済見舞金特別会計	20,074	18,871	1,203
8	特定退職金共済事業特別会計	624,715	334,609	290,106
9	労働保険事務組合特別会計	134,716	123,150	11,566
合計		1,380,380	1,088,293	292,087

※令和7年度から商工会議所会計実務の改訂により、特定退職金共済事業特別会計において掛金受入（保険料）および同額の掛金積立（支払保険料）を計上

※令和7年度「事業計画」・「収支予算」の詳細は、当所ホームページをご覧ください。

3月3日(月) / 出席者8名



開会の挨拶をする木山委員長

企業経営委員会（木山光委員長）
令和7年度税制改正要望の成果を確認

令和6年度第5回企業経営委員会では日本商工会議所産業政策第一部 課長 鶴岡 雄司 氏、小野 英之 氏を迎え、令和7年度の税制改正について説明を受けました。

主な改正点は以下の通りです。

- ・ 中小企業の法人税率の軽減措置の延長（2年間延長）
- ・ 事業承継税制特例措置における役員就任要件の事実上撤廃（自社株贈与時）など

詳細は、当所HPに掲載の「令和7年度税制改正のポイント」をご覧ください。

3月4日(火) / 参加者16名



小林副館長による講演の様子

女性会（佐野由香利会長）
女性会第2回万代縁サロ^{ゆかり}ンを開催

会員相互の交流を深め、「楽しく学ぶ」ことを目的とする万代縁サロン。第2回目となる今回は新潟市歴史博物館 副館長 小林 隆幸 氏を講師に迎え、みなとぴあにて開催しました。みなとまち新潟の成り立ちや発展の背景を学び、貴重な歴史的視点を獲得の機会となりました。参加者からも活発な質問が寄せられ、関心の高さがうかがえました。交流タイムでは自己紹介を交えながら、新潟の魅力について意見を交わし、和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。

3月4日(火) / 参加者19名



説明を受ける参加者

原子力発電について理解を深める
環境・エネルギー視察見学会

いいがた市民環境会議との共催により、エネルギーをテーマに視察見学会を実施し、東京電力「柏崎刈羽原子力発電所」を訪問しました。

見学では、原子力発電の仕組みを模型で学んだ後、発電所構内や7号機の建屋内に入り、設備の詳細な解説を受けました。また、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた具体的な安全対策について説明があり、原子力発電の現状と課題について理解を深めました。

3月6日(木) / 出席者13名



開会の挨拶をする若山委員長

パワーアップ5000推進委員会（若山委員長）
退会防止策等について意見交換

会員組織の拡大をテーマに令和6年度第3回目の委員会を開催しました。開会にあたり、若山委員長より「夢の5000会員まであと200社余り。パワーアップ5000推進委員会としては加入促進を行う一方で退会防止により特化し、皆様と一緒に是が非でも5000会員を達成したい」と挨拶がありました。

委員会では会員ニーズアンケートの結果や退会事業者の傾向などを元に、退会防止策に関する様々な意見が交わされました。

3月11日(火) / 出席者35名



大谷氏による説明の様子

建設・不動産業部会（本間達郎部会長） 「防災・減災、国土強靱化」を学ぶ

新潟国道事務所長の 大谷 江二 氏を講師に迎え、「防災・減災 講演会」を開催しました。

大谷氏は、過去の震災をふまえ、最新技術を活用しながらリアルタイムで情報収集を図るなかで、関係者間の明確な役割分担による迅速な対応が、円滑な災害復旧に繋がると話しました。加えて、国では国土強靱化実施中期計画の策定が進行中であり、物価高騰やインフラ老朽化対策の重要性が増していることから、十分な予算確保が必要であると述べました。

さらに、災害対策、防災・減災の観点からも、建設業界の健全な維持発展が必要不可欠であるとしたうえで、北陸地方整備局で展開している働き方改革や業務効率化を目指した様々な施策を紹介しました。

3月13日(木) / 参加者37名



講演をする加藤氏

会員のネットワークとビジネスチャンスの輪を広げる ～新会員交流会～

入会1年～2年目の会員を対象とした新会員交流会を開催し、当所小規模企業振興委員の 絵画教室ウニアトリ工代表 加藤 和彦 氏が「商工会議所の活用法～創業から現在(8年目)まで"ウニアトリ工の場合"」と題して講演を行いました。

加藤氏は「開業や補助金申請の相談、セミナーの受講など様々な場面で活用してきた。気軽に連絡して相談できるのが商工会議所の強み。困ったことがあれば一度相談し活用につなげていただきたい」と語りました。

3月11日(火) / 出席者11名



委員会での協議の様子

総務委員会（吉田徳治委員長） 通常議員総会の上程議案を審議

各部会・委員会の部会長、委員長で構成する総務委員会を開催し、通常議員総会に上程する「令和7年度事業計画(案)」「令和7年度収支予算(案)」について慎重審議の結果、いずれも原案どおり承認されました。また事務局から会員増強運動について、20年連続の新規入会200社以上を達成する見込みとの報告を行った後、会員ニーズアンケート結果をもとに、情報発信のあり方等について意見交換を行いました。

3月13日(木) / 参加者約280名



成果発表会の様子

古町芸妓育成支援協議会（行形和滋会長） 古町芸妓が日頃の稽古の成果を発表 ～第12回成果発表会「華つなぐ道」を開催～

古町芸妓育成支援協議会（当所事務局）は、12回目となる成果発表会「華つなぐ道」を新潟市民芸術文化会館能楽堂で開催しました。当協議会は、踊り・三味線・太鼓などの技芸を伝承し、古町花街の基盤強化と魅力発信を目的に活動しています。当日は、公募によって選ばれた市民や関係者など合わせて約280名を前に、普段では見ることのできない稽古着姿で古町芸妓が日舞や長唄、囃子を披露しました。